

平成27年度 「たかつエコシティツアー」について

1. 目的

区民の「適応策」や「生物多様性保全」に関する意識啓発を図るため、「エコシティたかつ」推進事業で実施しているプロジェクトのほか、区内・近隣地域で実施されている「適応策」や「生物多様性保全」に関する取組について、CCたかつと協働でマップを作成する。また、マップの作成にあたり、環境資源の調査を行い、関係者向けにプレツアーを実施する。

※CCたかつ：高津区在住の川崎市地球温暖化防止活動推進員で構成されるグループ

2. 取組内容

(1) たかつエコシティツアーの見学先を記載した「たかつエコシティツアーマップ」の作成



(2) 「たかつエコシティツアーマップ」を活用したプレツアーの実施（関係者向け）

ア. 日時

平成28年2月12日（金）13時00分～17時00分

イ. 参加者

「エコシティたかつ」推進委員	11名	
CCたかつ	4名	
事務局	5名	合計20名

ウ. 実施内容

13:00	高津区役所出発
13:20	矢上川地下調節池見学
14:50	下作延小学校 ビオトープ見学
15:30	緑ヶ丘霊園 「たかつの自然の賑わいづくり」事業のモデル地区見学

エ. 当日の様子



矢上川地下調節池 立抗模型による説明



矢上川地下調節池 立抗現場



下作延小学校 ビオトープ



下作延小学校 雨水樽



緑ヶ丘霊園内 谷戸の様子①



緑ヶ丘霊園内 谷戸の様子②

オ. 感想

- ・矢上川調節池の工事現場を見られたことは大変良かった。ツアーに組み込むのは無理だろうが、何か紹介できると良い。
- ・調節池の縦穴はなかなか見られないので、貴重な体験ができた。完成が10年後ということだが、完成した時には中に入って見てみたい。
- ・穴掘りの工法と安全対策をきちんとしていることに興味し、勉強になった。
- ・都会の水がああ流れているということを初めて知り、良い経験ができた。
- ・中間立坑の工事現場のすぐ裏の久末小学校隣で緑地保全の活動をしていたが、今までそのような工事を行っていることを知らなかったのので、会社の皆に教えてあげたい。建設現場はワクワクする。最先端の現場を見ることができた。
- ・エコシティたかつで扱っている題材が流域を基調とした取組だ。多くの皆さんに見て、体験してもらうことは、大変重要だ。全市域でやっていきたいが、地域特性があり、高津区で先端的に取り組んでいるのは、市環境局としてもありがたい。
- ・川崎市でも、多摩区五反田川で立坑と同じようなことをやっている。五反田川では多摩川に放流する形になっている。現在横のシールドは終わっており、職員は見学をしている。また、下水道事業で中原区、幸区等で同じように道路の下に管を入れ、水を一次的に溜めて晴天時に出す等、雨水対策を進めている。
- ・治水事業のすごさを知ることができた。国、県、市等行政の力でやることと、私たちが参加してできる災害対策と、二つの力で安全な暮らしが回っていくと良い。何回も岸先生に教えていただき前勉強が済んでいるので分かっているが、一般の方にツアーをした時に、前段階の何らかのレクチャーが必要なのではないか。
- ・矢上川の合流地点で小さい頃に泳いだり魚釣りをした。前田住宅が水没した際の状況も見えてい

るので、今日の工事を見て安心した。

- 矢上川の治水対策と地球温暖化とを組み合わせたDVDのような物を作成し、誰でも簡単に見られるようにまとめてもらえると良い。
- 一昨年に岸先生と小網代の森に行ったが、最初はここと同じようにうっそうとしてどこから手を付けたら良いのか分からない状況だったと思う。二年前から手を付け、森が明るくなり、遊歩道を作るとなると、将来像が描ける。市民が見学できるよう、小網代の森のように出来上がると良い。
- 小網代のミニチュア版のような物ができると、生物多様性と流域の関係が目で見えてわかるようになるので楽しみにしている。5年めどくらいで形になると良い。
- 緑ヶ丘霊園での見学ポイントでは、将来的に水が湧き、遊歩道ができてということだが、そこまで携われると良い。
- 現在の取組は分かるが、霊園事務所の将来計画が分からない。里山の活動をしているボランティアは色々な所に存在する。久末では企業が里山保全を行っている。取り組むと面白いので、どんどん参加してもらい、緑、自然を保全できれば良い。
- 5年後にゲンジボタルやオニヤンマが見られるということで、そうなるのを楽しみにしている。
- 市民健康の森で森の管理をしているので、山の見方、斜面の見方を参考にしたい。